

第5回 多摩市市制施行50周年記念誌編集委員会 要点記録

- 1 日時：平成31年3月29日（金）午後2時から午後3時15分
- 2 場所：多摩市役所3階 特別会議室
- 3 出席委員： 浜田委員長、保坂副委員長、長倉委員、三輪委員、川村委員、松井委員
- 4 議題：市制施行50周年記念誌の執筆要領、レイアウト案について

1 開会

委員長 第5回目の多摩市市制施行50周年記念誌編集委員会を開催する。

2 議題

委員長 本日の配布資料について、事務局より確認及び資料の説明をお願いしたい。

事務局より、配布資料の確認及び資料1に基づき記念誌作成のスケジュールについて説明を行った。

それでは、記念誌作成スケジュールについて、何か意見はあるか。

委員 現時点で、本スケジュール案で示されたとおりに作成は進んでいるか。

事務局 予定通り作成は進んでいる。

委員長 それでは、次に資料2の内容について、多摩市文化振興財団より説明をお願いしたい。

財団 財団より、資料2に基づき目次・執筆候補者について説明を行った。

目次・執筆候補者については、前回の会議の際に出された意見に基づき、修正を行った。この構成に基づき、今後執筆候補者へ執筆依頼を行っていく予定である。

委員長 目次・執筆候補者について、何か意見はあるか。

委員 「Ⅳ. 多摩市の歴史（多摩ニュータウン開発から）・《2》多摩ニュータウン開発～市制施行以後・②多摩ニュータウン建設の進展と街の変化」に記載のある「民間商業施設等の充実」で、想定される記載内容として大学とあるが、民間商業施設等と括らずに、「民間商業施設や大学の充実」とテーマ名を変更した方が良いと思う。

副委員長 関戸橋に関する記載が複数箇所あるので、それぞれ記載内容を整理する必要があると思われる。

財団 関戸橋については、架橋の歴史に関する記載と、多摩市の見どころとしての記載に分けて記載が出来れば良いと考えている。

委員 “集団中断移転”の言葉については、市民に分かりづらい表現であると思うが、説明書きはどこにされる予定か。

財団 本文の中で説明書きを記載する予定であるが、テーマ名として分かりづらいようであれば、変更を検討する。

委員長 本記念誌は記念誌編集基本方針にもあるとおり、市民に分かりやすく広く親しまれる冊子とするため、テーマ名は平易な表現とし、本文においてやや詳しく記載していく予定であるが、執筆を依頼する際には、そうした点を依頼文書等に明記してしっかりと伝える必要がある。

- 委員 執筆者が執筆する中で執筆内容に応じてテーマを変えるということは可能か。
- 財 団 執筆者に合わせて記載事項を変えるということは考えられる。ただし、事務局より写真を提供していくことになるので、これまで議論したテーマが大幅に変わるということは考えにくいと思われる。
- 委員長 それでは、本日のご意見を踏まえて修正したものを最終決定版とし、これに基づき執筆者へ依頼を行うこととする。
- 財 団 次に資料3について、多摩市文化振興財団より説明をお願いしたい。
財団より、資料3に基づき執筆要領（案）について説明を行った。
- 委員長 執筆要領（案）について、何か意見はあるか。
- 委員 「6 写真および図・表」の（4）において、別ファイルにまとめるとあるが、具体的にはどのような提出方法になるか。
- 財 団 事務局で作成するフォーマットに基づきご提出いただくよう想定している。依頼時に分かるようなフォーマットを配付する。
- 副委員長 西暦及び和暦の表記について、前近代の部分については、太陰暦が使われていた関係で厳密には和暦と西暦で月日に違いが出る場合あり、和暦で統一するところもあるが、今回は原則西暦表記で適宜和暦を併記する形で問題ないか。
- 委員長 本記念誌は、前近代に関する記載は20ページ程度と少ないこともあるため、西暦表記を中心とし、提出された執筆原稿を見て、和暦表記に関して個別に対応が必要な部分があれば、委員会において再度協議することとする。
- 財 団 それでは、次に資料4について、多摩市文化振興財団より説明をお願いしたい。
財団より、資料4に基づき執筆依頼文及び打診状況について説明を行った。
- 委員長 今後執筆要領及び執筆依頼文に基づき、執筆者へ依頼を行い、順次執筆を行っていただくこととなる。
- 財 団 それでは、次に資料5について、多摩市文化振興財団より説明をお願いしたい。
財団より、資料5に基づき記念誌のレイアウト（案）について説明を行った。
- 委員長 記念誌のレイアウト（案）について、何か意見はあるか。
- 副委員長 前近代の部分と多摩ニュータウンに関する記載等近代の部分では、資料写真の雰囲気が違うので、レイアウトも違ったものになっても良いのではないかと思う。
- 委員 長 また、今回の記念誌は、写真をメインにして説明文や解説文を入れていく形になると思うので、写真のサイズ等を工夫しながらレイアウトを検討していくことになると思う。加えて余白を活用することで強調したい情報を分かりやすく示すことが出来ると思うので、余白を上手く活用出来れば良いと思う。
- 委員 長 文章の段数については、1段と2段でどちらの方が見やすいか、また、フォントはどれが良いか、キャプションの文字サイズは本文よりどれくらい小さくするか等検討する必要がある。加えて、ページの淵については、色が残るように裁断した方が、冊子を閉じた状態からでも分かりやすいので、そのように裁断した方が良いと思う。本日はまだ初見の段階であり、次回以降詳細に議論したい。次回委員会までに各自検討願いたい。

3 その他

委員長

それでは、その他に何かご意見はあるか。

委員

本記念誌の情報が冊子以外に電子で分かるように、QRコード等で飛べるようにしてはどうか。

財 団

どのくらいの期間QRコードで示したページを有効としておくか検討が必要である。また、電子書籍化も含めて検討しても良いと思う。

委員長

全体マップのページに本記念誌で記載された文化財や自然の位置情報を落とし込んで示しても良いと思う。

それでは、本日の委員会はこれまでとする。

事務局

次回、第6回多摩市市制施行50周年記念誌編集委員会については、5月31日（金曜）午後2時から多摩市役所本庁舎3階特別会議室において開催する。

4 閉会